#### 日本産業衛牛学会

# 産業医部会会報

第55号 平成27年7月28日

公益社団法人 日本産業衛生学会 産業医部会事務局 〒160-0022

東京都新宿区新宿 1 - 29-8 公衛ビル内 TEL 03-3356-1536 FAX 03-5362-3746

e-mail:sanei.4bukai@nifty.com



# 卷頭言

# 産業医部会に期待します

東海地方会長 愛知医科大学 医学部衛生学講座教授 **柴 田 英 治** 

産業医部会はこれまで様々な立場にある産業医の情報交換、実務能力向上のための研修活動、社会への意見表明、人材育成、親睦活動など幅広い活動を行い、日本産業衛生学会を実践面で支えるとともに学術面でも少なからぬ貢献をしてきました。産業医協議会時代から続く長い歴史の中で日本の働く人々の健康と安全に果たした役割は計り知れないものがあります。私は東海地方会、中小企業安全衛生研究会の活動に関わる中で、さらに最近は学会の利益相反に関する委員会で活動する中で感じる産業医部会の課題と考えられる二点についてお伝えしたいと考えています。

第一に学会公益法人化を踏まえ、しばしば指摘されることですが、働く人すべてに産業保健サービスを提供することの重要性が以前にも増して強調されるようになっています。産業医部会は多くの優秀な産業医を擁しているとはいえ、部会員がカバーする労働者はわが国全体からみれば大きなものとは言えません。特に50人未満の事業場で働く人々、自営業、非正規雇用契約の下で働く人たちについて言えば私がこの世界に入ってからも目立った進展がみられないのが実状です。産業医部会は今後さらにこのような状況に対峙する活動が求められると思います。産業保健分野で活動する種々の専門家はもちろん、地域保健、臨床分野、行政など連携しなければならない対象はまだ多数あります。

第二は産業保健分野の研究に関わる利益相反の問題について、社会から従来以上に厳しい目にさらされることに対する怠りない準備です。利益相反の問題は新薬の臨床試験に限るものではありません。産業医の場合、事業所をフィールドとして行う研究については雇用者たる事業者との契約事項には多くの場合含まれないのではないでしょうか。これまで研究発表と産業医契約について議論されたことはほとんどないと思われます。しかし、研究に関わる事項一つ一つについてまわる金銭授受を伴わない利益のやり取りとそれに関する契約の有無などについて切り分けて考えていくと、研究活動を行う多くの産業医が近い将来これらの点について、利益相反の観点から解明する必要に迫られることが予想されます。産業衛生研究は現場抜きにはあり得ず、研究に関わるこれらの問題については今後産業医部会が指導的な役割を果たされることを期待しています。

上記の二つの課題は部会内部での議論とともに全国協議会などの場で他の部会との対話を行うことも 重要です。実践、研究の両面で日本産業衛生学会の一層の活性化に産業医部会が引き続き大きな役割を 果たされることを期待しています。

### 日本産業衛生学会産業医部会 平成26年度 事業報告

部会長:斉藤政彦

#### 1. 研修事業の充実

1) 第19回産業医プロフェッショナルコース

テーマ: 今こそ知りたい! これからの職場リスクアセスメント ~ストレスチェックと職場巡視~

開催日:平成27年2月14日(土)~2月15日(日)(横浜市)

2) 第13回産業医フォーラム

平成26年5月24日 第87回日本産業衛生学会総会(岡山市) にて開催 産業医の多様性を考える! ~ 多様な産業医・多様な貢献 ~ Part II

3) 各地方会活動

(北海道地方会)

1) 第17回産業医・産業看護・産業衛生技術・産業歯科合同研修会

日 時:平成26年3月8日(土)(札幌市)

(東北地方会)

1) 第18回産業医協議会

日 時: 平成26年7月26日(青森市)

(関東地方会)

1) 日本産業衛生学会関東産業医部会産業医研修会

日 時:平成26年12月6日(東京都)

2) 第19回海外勤務者健康管理研修会

日 時:平成27年2月28日(東京都)

(北陸甲信越地方会)

1) 北陸甲信越地方会産業医部会設立総会記念講演会

日 時:平成26年9月27日(金沢市)

(東海地方会)

1) 第9回東海地方会産業医部会懇話会(産業医部会主催)

日 時:平成26年12月20日(土)(名古屋市)

2) 第27回産業保健スタッフのための研修会(産業医部会共催)

日 時:平成27年1月31日(土)(名古屋市)

(近畿地方会)

1) 第19回 近畿産業医部会研修会

日 時: 平成26年9月20日(大阪市)

2) ケースカンファレンス研修会

テーマ:産業医職場診断

日 程:平成26年9月13日、10月9日、11月8日、12月13日

テーマ:職場巡視

日 程: 平成26年8月9日、平成27年1月24日、1月31日、2月7日、2月14日

(中国地方会)

1) 第13回 産業医部会研修会

日 時: 平成26年11月29日(広島市)

(四国地方会)

1) 四国地方会産業医部会総会および交流会

日 時:平成26年8月30日(松山市)

2) 四国地方会産業医部会サマーセミナーの開催

日 時:平成26年8月30日(松山市)

(九州地方会)

1) 平成26年度 九州産業医部会研修会

日 時:平成27年2月14日(福岡市)

2. 広報活動の推進(部会員数増加に向けて) 勧誘チラシの刷新と各地方会への配付

3. 研究支援の強化

第24回全国協議会(名古屋市)における、ポスター優秀賞授与

受賞者:日野 亜弥子:産業医科大学 産業生態科学研究所 精神保健学研究室 「時間外労働時間の経年変化が精神的健康に与える影響:単一企業における2年間の 縦断研究」

4. 第24回産業医・産業看護全国協議会の開催 平成26年9月24日(水)~27日(土) 金沢市開催

- 5. 他部会、医師会並びに諸団体との連携強化
  - 1) 四部会合同セミナー: 平成26年9月 金沢市開催
  - 2) 四部会合同企画 リレーワークショップ:平成26年9月 金沢市開催
  - 3) 日本労務学会との連携強化
- 6. 部会報の発刊

3月、7月、11月

7. 幹事会の開催

第1回 平成26年5月23日:第87回日本産業衛生学会総会(岡山市) にて

第2回 平成26年9月25日:第24回 全国協議会(金沢市) にて

第3回 平成27年1月31日:日本公衆衛生協会会議室(東京都)

#### 业支計算量

	1日から平成27年 2月28日		部会内明細		蓬	業医部会
科 目	予算額	決算額	事務局単体	P=-2	差異	摘要
I 一般正味財產增減の部 1. 経常増減の部 (1) 経常収益				in the		
本 財 産 運 用 益 基 本 財 産 受 取 利 息	0	0	0	0	0	
要 取 会 費 正 会 員 受 取 会 費	o o	0	0	0	0	
赞助会 曼 取会费					0	
購入 金					0	
事業数益	1,000,000	1, 699, <b>000</b> 200, 000	0	1, 699, 000	-699, 000 0	
投稿 超過 頁 収益	200, 000	0		200,000	0	
別 刷 収 益 参 加 登 録 科 収 益 専 門 医 資 格 認 定 収 益	800,000	1. 499. 000		1, 499, 000	-699. 000 0	
その他事業収益	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	0	0	
受 取 本 部 助 成 命	1,000,000	1, 000, 000	1.000.000		0	
受 取 国 庫 助 成 金 受 取 地 方 公 共 団 体 助 成 金 受 取 民 間 助 成 金		0			0	
要 取 負 担 金 受 取 活 動 費	1, 650, 000 1, 650, 000	1, 942, 000 1, 942, 000	1,942,000	0	-292,000 -292,000	
	1, 630, 660	0	1, 942, 000	0	-292,000 0	
雑 収 益	100 100	0 264	16	248	-164	
雑 収 益		264	16	248	-164 0	
経常収益計 (2) 経常費用 事業費	3, 650, 100 2, 900, 000	4, 641, 264	2, 942, 016	1, 699, 248	-991. 164 -771. 058	
会 場 費	100,000	3, 671, 058 629, 763 103, 780	2, 057, 315	1, 613, 743 629, 763	-529, 763	
旅 費 交 通 費 通 債 運 搬 費 印 刷 製 本 費	50,000	9, 288	9, 288	103, 780	-103, 780 40, 712	
消 耗 品 赞	50,000	2, 279 88, 427	1, 689 88, 427	590	-2,279 -38,427	
機 関 は 印 刷 費 機 関 は 編 集 費 機 関 は 発 送 費	800, 000 200, 000	1, 117, 800 136, 080	1, 117, 800 136, 080		-317, 800 63, 920	
機関 誌 発 送 費 広 報 歩 外 費	300,000	241.006	241.006		58, 994 0	
広     排     外     費       研     完     計     金     金       管     金     金     か     成     金       大     金     研     修     助     成     金       お     金     会     助     成     成     金       地     方     会     助     成     成	100,000	270, <b>00</b> 0	30, 000	240,000	-170,000	
学 会 助 成 金 協 銭 会 助 成 金		0			0	
大会研修会助成金部 金 助 成金	700 000	0	040, 000		0	
	800.000	240, 000	240, 000		560,000	
委     負     会     費       研     究     会     費       委     託     隻       国     際     交     流     費       開     死     保     守     費	50, 000	378, 929		378, 929	-328, 929	
	450,000	108,000	108, 000	000 004	-108,000 104,294	
雑 黄 理 黄	450, 000 1, 700, 000	345, 706 626, 346	85, 025 551, 168	260, 681 75, 178	1, 073, 654	
給料 手 当 退 職 給 付 費 用		0			0	
法 定 福 利 費 会 费	\$ 500,000	0	E42 202	74 440	002.155	
理事幹事会費旅费 交通费	1,500,000	617, 835	543, 392	74, 443	002, 165	
通信     運     搬費       役員     改選費       名簿     発行費	50,000	0			50,000 0	
減 価 償 却 費		0			0	
印     刷     製     本     費       消     耗     品     費		0	72 - Min (-1)		0	
会 員 報 奨 費	100 000	0			100,000	
広 報 渉 外 貴 貴 借 料	100,000	0			100,000	
租税 公課	Fo. occ	0	7 776	705	0	
雜 費用計 費	50,000 4,600,000	8, 511 4, 297, 404	7, 776 2, 608, 483	735 1, 688, 921	41, 489 302, 596	
評価機益等調整前当期経常增減額 評価機益等計	-949, 900 0	343, 860 0	333, 533	10, 327	-1, 293, 760 0	
当期経常増減額 2. 経常外増減の部	-949. 900	343, 860	333, 533	10, 327	-1, 293, 760	
(1) 経常外収益計	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用 経常外費用計	0	0	0	0	0	
当期程常外增減額 当期一般正味財產增減額	-949. 900	343. 860	333, 533	10, 327	-1, 293, 760	
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高	4, 911, 591 3, 961, 691	2, 437, 378 2, 781, 238	1, 187, 260 1, 520, 793	1, 250, 118 1, 260, 445	2, 474, 213 1, 180, 453	別途前期の前受金分28,000ま
<ul><li>指定正味財産増減の部 当期指定正味財産増減額</li></ul>	0	0		0	0	
指定正味財產期首残高 指定正味財產期末残高	0	0	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	3, 961, 691	2, 781, 238 +	1,520,793	1, 260, 445	1, 180, 453	

+ 18,000 (前受金:H26年度中に入金のあったH27年度分活動費)

+ 18,000 ↓ ¥2,799.238 (財産合計)

### 日本産業衛生学会産業医部会 平成27年度 事業計画

部会長:斉藤政彦

- 1. 研修事業の充実
  - (1)産業医プロフェッショナルコース 第20回 平成28年1月又は2月 横浜市開催予定
  - (2) 産業医フォーラム

第14回 テーマ「中小事業所へ産業保健サービスを届けるために 〜学会・産業医部会・地産保事業・医師会の連携を模索して〜」 平成27年5月16日 第88回日本産業衛生学会(大阪市)にて開催

- (3) 部会主催研修会開催
- (4) 各地方会にて研修会開催
- 部会報の発刊
   年3回(4月、7月、11月)
- 3. 広報活動の推進

部会員数増加に向けて、産業医部会入会案内の配付 HPの改訂など

4. 研究支援活動

第25回 産業医・産業看護全国協議会での産業医部会ポスター優秀賞授与

- 5. 第25回産業医・産業看護全国協議会の開催 平成27年9月16日~19日 周南市開催予定
- 6. 他部会・医師会並びに諸団体との連携強化
  - (1) 四部会合同セミナー 平成27年9月 周南市開催予定
  - (2) 日本医師会、日本労務学会との連携強化
- 7. 幹事会の開催

年3回 総会(平成27年5月)、全国協議会(平成27年9月)時に併せて各1回、他1回(東京都にて、平成28年1月又は2月)

8. その他

#### 平成27年度 第1回 日本産業衛生学会産業医部会 幹事会議事録

日時: 平成27年5月14日(木) 16:00~19:00

会場: グランフロント大阪 コングレコンベンションセンター (B2F)

会議室1 (ルーム1)

出席:斉藤政彦、宮本俊明、原 俊之、西條泰明、菅原 保、色川俊也、福本正勝、谷山佳津子、

加藤憲忠、服部 真、石川浩二、寺澤哲郎、中西一郎、伊藤正人、森口次郎、宇土 博、

山本真二、杉原由紀、斎藤 恵、小田原 努、彌冨美奈子、垣内紀亮

欠席:中平浩人

- 1. 部会長選挙の結果、斉藤政彦幹事を部会長に選出した。
- 2. 新任幹事より就任の挨拶があった。

#### 3. 審議事項

①各幹事の役割分担について斉藤部会長が案を提示し、メール会議にて調整を行う事となった。

②総会報告事項について

色川幹事、加藤幹事、谷山幹事より、平成27年度産業医部会総会の議事ならびに報告内容に関して資料に基づいて、説明がなされた。

③全国協議会の新名称と今後の運営について

医部会としては、平成27年4月20日の臨時メール幹事会の意見集約を基に、「日本産業衛生学会全国協議会」の名称を推すこととした。その後、他部会も賛同したことにより、平成28年度秋に開催予定の第26回大会より、「日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会」の名称が、「日本産業衛生学会全国協議会」という名称になることが、斉藤部会長より報告された。これにより、産業医部会、産業看護部会、産業衛生技術部会、産業歯科保健部会の4部会が共催することになった。

④医部会報について

平成27年度より医部会報編集作業は編集委員会制を採用することとなった。谷山幹事を新たに編集委員会委員長に任命し、これまで通り、年3回の発行予定である旨が確認された。

⑤ホームページについて

会員への情報提供の窓口として活用されるよう、森口幹事を中心に今後も適宜改善を行っていく 旨が確認された。

⑥地方会活動の活性化について

斉藤部会長より、地方会医部会への助成金を今年度から増額する旨が報告された。

(7)フォーラムおよび産業医部会企画の役割分担について

医部会自由集会は産業医部会企画と名称変更し、世話人の中に開催地方会部会幹事を入れて企画・

運営にあたることとした。

- ⑧ストレスチェック制度について 意見交換を行った。
- ⑨次回幹事会日程について

第25回産業医・産業看護全国協議会の期間中である、平成27年9月17日(木) 14時~17時に開催することとなった。

#### 4. 報告事項

- ①服部幹事より、第24回全国協議会(金沢)の会計の概要が報告された。
- ②中西幹事より、第88回学術集会(大阪) における医部会フォーラムについて概要の説明がなされた。
- ③山本幹事より、第25回全国協議会(山口)の準備状況が報告された。
- ④伊藤幹事より、第26回全国協議会について、平成28年9月8日(木)~9月11日(日) 京都テルサでの開催が決定したと報告された。
- ⑤菅原幹事より、第89回学術集会(福島)における医部会フォーラムは、平成28年5月27日 (金)に開催される予定であることが報告された。テーマは未定。
- ⑥彌冨幹事より、現在日本専門医機構で検討されている基本領域に社会医学系は含まれて おらず、日本産業衛生学会は社会医学系の関連学会、関連団体と共同・協働し、社会医 学系の基本領域の確立を目指す方針であることが報告された。
- ⑦宮本副部会長より、生涯教育委員会へのGPS提供の協力要請と、若手研究者の会への無形の支援について要請があった。生涯教育委員会への部会からの委員は変更なし。
- ⑧斉藤部会長より、政策法制度委員会では、化学物質とメンタルヘルスに関する提言に次いで、産業保健サービスをどう考えるかというテーマに取り組んで行く方針であることが報告された。
- ⑨加藤幹事より、平成26年度に実施した、プロフェショナルコースに関する報告並びに、 平成27年度のプロフェッショナルコースの今後のスケジュールに関して報告がなされた。
- ⑩菅原幹事より、本年度の全国協議会でのポスター賞について、採点方法の変更を行う予 定であることが報告された。
- ①斉藤部会長、宮本副部会長より、理事会報告がなされた。
- ②その他 斉藤部会長、宮本副部会長より、主治医と産業医の連携が重要であるという認識を高めてほしい旨が報告された。

(以上)

## 第25回日本産業衛生学会 産業医・産業看護全国協議会のご案内(第3報) (合同開催 第24回産業衛生技術部会大会)



第25回日本産業衛生学会 産業医・産業看護全国協議会 企画運営委員長 山 本 真 二(日新製鋼 周南製鋼所)

メインテーマ 「職場が元気になる産業保健の展開に向けて」 会 場 周南市文化会館

9月16日(水)から19日(土)の期間で標記学会を開催いたします。 会場の変更と特別企画の追加、参加者特典をお知らせします。

・サブ会場 ホテルサンルート徳山は使用を中止しました。懇親会のみの使用となります。

・特別企画 期 日:9月18日(金)13時30分~15時

テーマ: 直前に迫ったストレスチェック制度について

演 者:厚生労働省 担当官

#### • 参加者特典

周南市文化会館に隣接する周南市徳山動物園、周南市美術博物館を会期中に限り、入園口にて学会参加証をご提示して頂くと、入場料が無料となります。

ホームページで、日程、プログラム、参加登録、演題募集などの詳細を公開中です。

演題はポスター発表のみです。多くの方々の参加と演題の登録をお願いしております。

事前参加登録の締切りは7月22日(水)、演題登録の締切りは延長して7月14日(火)、実地研修申込開始は7月30日(火)を予定しています。

4部会合同職場改善セミナー、実地研修、4部会合同職場改善セミナーアドバンスコースの申込は 定員が限られています。先着順ですのでお早めに申込下さい。

自由集会や委員会などの会場もまだ確保できますので、ホームページで確認下さい。 託児所もご利用できますので、ホームページで確認下さい。また、ホームページの記載などについ ても間違いのご指摘やご意見を事務局まで頂ければありがたいです。

(ホームページ http://square.umin.ac.jp/ncopn25)

#### 第25回日本産業衛生学会 産業医・産業看護全国協議会

企画運営委員長:山本真二 運営実行委員長:井手 宏

企画学術事務局:日新製鋼(株)周南製鋼所診療所

〒746-8666 山口県周南市野村南町4976番地

TEL:0834-63-0614 FAX:0834-63-0419

E-mail: yamamoto.s054@nisshin-steel.co.jp

## 第13回 日本産業衛生学会 4部会合同職場改善セミナー開催案内





宇土 博

落合孝則

 友和クリニック
 字
 土
 博

 東京工業大学
 落
 合
 孝
 則

第13回4部会合同職場改善セミナーが、2015年9月16日~19日に山口県周南で開催される第25回日本 産業衛生学会全国協議会の企画として行われます。

#### 1. 日時と場所:

9月16日(水) 13:00~15:30 職場見学

(周南紙業株式会社製紙工場、新和企業株式会社周南支店 クリーニング工場)

9月17日(木) 9:30~11:30 報告会

(周南市文化会館 大ホール)

2. 目的:産業医、産業看護職、産業衛生技術者、産業歯科医が合同して職場巡視を行い、それぞれの 専門の立場から職場の改善すべき問題点や今後の産業保健活動に生かす良い事例を取材し、参加型 のグループ討議を行ってまとめ、全体で発表・討議することによって、人間工学や衛生工学を中心 とした職場改善・作業管理のための実践的なスキルの向上を図ることにあります。職場改善は、産 業保健活動の柱になるものです。

セミナー会場は、今回の全国協議会の企画運営委員長の山本真二先生が産業医を務める日新製鋼 周南製鋼所の構内の2つの工場で行われます。周南製鋼所は、大正7年に操業開始した世界的な技 術を誇るステンレス鋼の大規模生産工場です。敷地面積992,248㎡、従業員949名(平成26年現在)で

す。ステンレスは、家電や自動車の材料として使用されています。鏡面仕上げしたステンレス鋼板の表面傷を防ぐためにコイル鋼板の間に紙すなわち「金属合紙」が挟み込まれています。月に1000tの金属合紙が使用され、そのうち400tが古紙として再生処理されます。家電用などの鏡面仕上げのステンレスは蚊が一匹その表面に付着しても不良品になるために、工場内の防虫対策が徹底されるほど厳密に品質管理

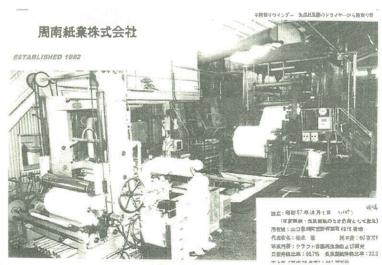


図1. 周南紙業(株) の抄紙工場

されます。そのためコイルに挟み込む金属合紙は、表面傷の防止に重要な役割を果たします。

#### 3. 訪問職場

1) 周南紙業株式会社は、この古紙の再生処理を行う企業です。

昭和57年に設立。敷地面積5,400㎡で、抄紙工場と製品倉庫があります。社員数28名で、うち抄紙班は16名、4組3交代で操業。売上高4.6億円。

金属合紙抄紙設備での作業工程は、①古紙の溶解・脱脂、②混入物の除去、③漂白剤、添加剤の付加、④異物除去、⑤丸網抄紙機、⑥乾燥機(アイロン)、⑦巻き取り機で巻きとる。⑧スリッター



図2. 金属合紙を巻いたステンレスのコイル

で、ステンレスロールの幅に合わせて、紙を切る工程があります。

抄紙速度は、MAX 220m/min。

作業工程は、多くは自動化されており、点検、監視業務が行われています。監視作業、高熱・湿潤環境、騒音環境、化学物質取扱いなどが問題となります。

2) 新和企業株式会社は、日新製鋼の社宅の営繕、売店等の福利厚生部門を担う企業として発足し、製鉄原料購入販売等の商事部門、広告宣伝部門など日新製鋼を支える広範囲な業務を行っています。



図3. 作業服のクリーニング

今回訪問するクリーニング工場は、製鋼所の従業員や 他企業の作業服、軍手、マット、モップなどのクリー ニングを行う部門です。

昭和63年に設立され、従業員は、11名です。100kg の洗濯機、100kgの乾燥機、プレス機を備えています。

業務は、①洗濯作業、②乾燥作業、③脱水作業、④ プレス作業です。

作業環境としては、高熱湿潤環境による熱中症対策 が取り組まれています。

- ①職場では、5班に分かれて2つの工場を巡視し、その後班別に1つの担当作業場を巡視します。
- ②グループワークを行い、良かった点3つ、改善点を3つ、改善点に関しては低コストの改善案、 高コストの改善案を討議し、③翌日プレゼンテーションするため、その準備を行います。

#### 4. スケジュール

1) 9月16日(水)

12:30~13:00 参加者集合:周南市保健センター

1 F健診ホール(徳山駅から徒歩15分)、オリエンテーション

13:00~13:15 移動:周南製鋼所 厚生会館へ(マイクロバス+タクシー)

13:20~13:50	職場概要の説明
13:50~14:00	移動: Aグループ $1 \sim 3$ 班、B グループ $4 \sim 5$ 班に分かれ、A グループは、クリー
	ニング工場へ、Bグループは、周南紙業へ
14:00~14:30	全体巡視 A、Bグループごとに、各工場の全体を巡視
14:30~14:40	Aグループは周南紙業へ、Bグループは、クリーニング工場へ移動
14:40~15:30	Aグループ:1~2班 抄紙工場、3班 スリッター作業、倉庫作業。
	Bグループ:4班 洗浄、乾燥工程、5班 プレス工程、タタミ工程、包装工程。
15:30~15:40	厚生会館へ移動
15:40~16:10	質疑・応答
10.10 10.05	田本士(1) 持入、九、1 口(持入)

16:10~16:25 周南市保健センター1F 健診ホー ルヘマイクロバス+タクシーで 移動

16:30~19:00 グループワーク、プレゼン準備 (軽食)

19:00~20:30 懇親会(有志)



図4. 作業服のボディプレス機

#### 2) 9月17日(木) 9:30~11:30 周南市文化会館 大ホール

各班のプレゼンテーションを行い、それぞれの発表に対して質疑応答、その後講評をもらいます。これまでの12回の合同セミナーとも、「異業種の人との職場の共同視察とグループ討議により、職場を見る視点が広がることや、職場改善の実践的なスキル向上に繋がる。セミナーで学んだことを生かして、早く職場巡視がしたくなった」と好評です。皆様の参加を呼び掛けます。

申し込みは、第25回産業医・産業看護全国協議会のホームページからできます。

ホームページ http://square.umin.ac.jp/ncopn25/greeting.html

### 第1回 日本産業衛生学会 4部会合同職場改善セミナー・アドバンスコース開催案内





友和クリニック 宇 七 博 東京工業大学 落 合 孝 即

第1回4部会合同職場改善セミナー・アドバンスコースが、2015年9月16日~19日に山口県周南で開 催される第25回日本産業衛生学会全国協議会の企画として行われます。

1) 日 時:9月18日(金) 13:30~18:00

2)場所:周南市保健センター 3 F視聴覚室(徳山駅から徒歩15分)

3) 対 象:4部会合同職場改善セミナー経験者

アドバンスコースは、今回初めて行われます。このコースは、これまで12回行われてきた4部会合同 職場改善セミナーの成果を引き継ぎ、より実践的な職場改善を行うためのセミナーです。

#### 【4部会合同セミナーの発足の背景】

1980年代から、産業衛生学会の頚肩腕障害、腰痛、疲労研究会等の研究者を中心に、従来の問題発見 型に代え問題解決型の産業保健活動が提案され、職場と連携した先進的な職場改善が取り組まれてきま した。また、1984年にフィリピンで、靴や家具の企業の協力で始まったILOの中小企業の参加型の人間 工学プログラムは、インド、タイに波及し職場改善を大きく進めてきました。

これらの活動は、二次予防から職場改善による一次予防を行う新たな産業保健の潮流を形成してきま した。そして、人間工学は、働きやすく、安全、健康、快適な作業方法を目指す科学であり、人間工学 的な職場改善は、産業保健の重要な柱であると広く認識されてきました。

このような潮流を受け産業医・産業衛生技術部会の幹事により、産業保健スタッフの人間工学的な職 場改善のスキルアップを図り職場改善を推進して行く4部会合同セミナーが提案されました。2003年の いすゞ自動車より現在まで12回を開催し産業医・産業看護全国協議会の企画として定着してきました。

現在までに延べ450余名の訓練を終了し、セミナー参加者が職場改善の推進者になり、わが国の職場 改善の大きな力になることが期待されます。参加者の評価は、①多職種の参加で異なる視点を習得 ② グループ討議で深い知識を習得 ③産業医に欠ける人間工学的対策の習得 ④低コスト対策により現実的 な対策を習得 等、良い評価を得ています。

しかし、一方で複数回の参加者から、このセミナーは基礎コースであり、より深い職場改善のスキル を習得するアドバンスコースの希望が寄せられてきました。そこで、昨年の第24回産業医・産業看護全 国協議会で、合同セミナー実行委員が集まり、今回の新しいトレーニングの枠組みが提案されました。

- 1. 目 的:産業保健専門職として、職場で働く人が安全・健康・効率的に働くための職場改善のファシリテーターとしてのスキルを習得し、職場の改善をさらに進めることです。
- 2. 対象:4部会合同セミナーに複数回参加し、より深い職場改善スキルを習得したいと希望する 産業衛生学会会員40名程度です。
- 3. 事 例:白ネギの加工・出荷作業の改善

今回は、コンベアも加えた、白ネギ加工の組作業(流れ作業)を事例に取り上げて、改善案を検討します。 これによって、多くの職場で問題となっている「流れ作業」の改善スキルを習得します。

#### 4. 方 法:

- ① 課題職場のビデオ等を教材として、事前に参加者に配布し、問題点と改善案を個人で検討します。パワーポイントで7枚程度にまとめ送ってもらい、会場でプレゼンして、改善対策をグループワークします。
- ② 参加者の改善提案と主催者側の改善提案 を突き合わせて合同検討し、最終的な改 善提案を職場に返します。
- ③ 会場で、課題職場の関係者にも参加して もらい、改善提案に対する講評を受けま す。

#### 5. 全体のスケジュール

13:30~13:35 主催者挨拶

13:35~14:05 人間工学・衛生工学の基礎知識の講義

14:05~14:35 課題職場の概要の説明 : ビデオの放映

14:35~15:35 ビデオを見て、良好な事例、問題点の整理を行い、対策を検討する。プレゼンの準備をする。

15:35~15:50 休 憩

15:50~16:50 プレゼン、討議、講評(5班:発表5分、質疑5分、講評10分)

16:50~18:00 交流会(軽食、飲料など) 第2回の検討会議、閉会

申し込みは、第25回産業医・産業看護全国協議会のホームページからできます。 ホームページ http://square.umin.ac.jp/ncopn25/greeting.html



根切り作業



皮むき作業



ネギの秤量作業

### 地方会産業医部会 平成26年度活動報告及び平成27年度活動計画

# 北海道地方会

幹事 北海道労働保健管理協会 原

俊之

#### 【平成26年度 北海道地方会産業医部会活動報告】

平成26年度日本産業衛生学会北海道地方会

日 時: 平成26年10月18日(土) 10:00~17:00

会 場: 札幌市医師会館 大ホール

会 長:北海道労働保健管理協会会長 横 山 進

- •一般演題8題
- ・特別講演「北海道の産業と産業保健 ~ 地域に根差した活動をめざして ~」 旭川医科大学健康科学講座教授 吉 田 貴 彦
- ・シンポジウム「高年齢労働者が快適に働ける職場づくりを目指して ~ 定年延長と再雇用制度における産業保健スタッフの役割 ~」
  - 1. 暦年齢からの脱却、そしてアクティブ・エイジング社会への創出へ神代雅晴(一般財団法人日本予防医学協会理事長)
  - 労働災害防止の観点から
     羽 生 和 彦(北海道労働局健康課長)
  - 3. 産業医の視点から中高年労働者の健康管理、安全衛生管理について考える 佐藤修二(札幌ワーカーズクリニック院長)
  - 4. 高年齢者を戦力にできる職場づくり 佐々木 由紀雄(株式会社やまぐち食品常務取締役)

第18回産業医・産業看護・産業衛生技術・産業歯科合同研修会

日 時: 平成27年3月7日(土) 14:00~17:00

会 場:北海道大学学術交流会館大講堂

講演1「第三次産業における労働安全衛生の課題と取り組み - 特に小売業を中心として」

原 俊 之(北海道労働保健管理協会)

講演2「職場における感染症対策」

羽 賀 將 衛(北海道教育大学保健管理センター所長)

講演3「労働安全衛生法の改正と最近の労働衛生行政について」

羽 生 和 彦(北海道労働局健康課長)

(敬称略)

## 【平成27年度 北海道地方会産業医部会活動計画】

6月15日の地方会運営委員会にて、本年度地方会総会(10月に旭川市にて開催予定)、第19回産業医・ 産業看護・産業衛生技術・産業歯科合同研修会(平成28年3月開催予定)について協議の予定。

# 東北地方会

#### 幹事 東北大学環境・安全推進センター 色 川 俊 也

#### 【平成26年度 東北地方会産業医部会活動報告】

#### 第18回産業医協議会

(平成26年度日本産業衛生学会東北地方会にて)

日 時:平成26年7月26日(土曜)

時 間:16時00分~17時30分

会場:アピオあおもり(青森市)

司 会:色 川 俊 也 (東北大学 大学院医学系研究科産業医学分野)

テーマ:「東北地方各地の産業医活動の取り組みから」

1)「青森県の産業医活動から」

青森県: 菊 田 一 貫 (医療法人同仁会波打病院)

2)「岩手県の産業医活動から」

岩手県:茂木隆(岩手東芝エレクトロニクス(株)健康支援センター)

3)「秋田県の産業医活動から」

秋田県: 工 藤 康 嗣 (TDK健康管理センター)

4)「宮城県の産業医活動から」

宮城県:清 治 邦 章(仙台産業医OFFICE)

5)「山形県の産業医活動から」

山形県: 菅原保(医療法人健友会 本間病院)

6)「福島県の産業医活動から」

福島県:山 内 徹(福島キヤノン株式会社健康支援室)

#### 【平成27年度 東北地方会産業医部会活動計画】

#### 第19回産業医協議会

(平成27年度日本産業衛生学会東北地方会にて)

日 時: 平成27年7月25日(土曜)

時 間:15時10分~16時40分

会 場:秋田県医師会会議室(秋田市)

座 長: 工 藤 康 嗣 (TDK健康管理センター)

演 題: 「ストレスチェックへの準備

- 労働衛生機関の取り組みを含めて -」

講 師:一般財団法人京都工場保健会 産業保健推進部長 診療所副所長

森口次郎

(敬称略)

# 関東地方会

#### 幹事 朝日新聞社労務部(健康管理) 谷山 佳津子

#### 【平成26年度 関東地方会産業医部会活動報告】

(1) 関東産業医部会産業医研修会

主催 関東地方会産業医部会

共催 日本産業衛生学会関東地方会・慈恵医師会・東京都医師会

日時 平成26年12月6日(土)13時30分~17時30分

会場 東京慈恵会医科大学 中央講堂 (港区西新橋)

講演1. 労働安全衛生法改正 ストレスチェックについて

厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課 泉 陽子 先生

講演2. 生産性とメンタルヘルスの第一歩としての睡眠

労働安全衛生総合研究所 高橋 正也 先生

講演3.「健康づくりのための睡眠指針2014」の職域での活用

富士電機株式会社 大崎地区健康管理センター 加藤 憲忠 先生

講演4. ブルーライトの健康影響

慶應義塾大学医学部眼科学教室 坪田 一男 先生

(2) 第19回海外勤務者健康管理研修会

主催 海外勤務者健康管理全国協議会

共催 関東地方会産業医部会・東京産業保健総合支援センター

日時 平成27年2月28日 (十) 14時~17時10分

会場 UDX Gallery Next, NEXT-2 (秋葉原UDX)

1. 講演 14時~15時

海外勤務者のための感染症対策:自衛隊の海外活動で対応した医官の視点から 演者 河北総合病院 安全感染管理室 藤井 達也 先生 座長 東京医科大学病院 渡航者医療センター 濱田 篤郎 先生

2. シンポジウム 15時10分~17時10分

テーマ 日本企業のグローバル化に伴う海外事業場の安全衛生体制の構築 座長 ファームアンドブレイン 浜口 伝博 先生

講演1. 日本企業のグローバル化に伴う海外事業場の安全衛生体制の構築 演者 産業医科大学 産業生体科学研究所 森 晃爾 先生

講演 2. グローバル基準とパフォーマンス監査を活かした全社的な安全衛生レベルの向上 演者 HOYA株式会社 小林 祐一 先生

#### 【平成27年度 関東地方会産業医部会活動計画】

(1) 第20回海外勤務者健康管理研修会(共催)

日時 平成27年8月8日(土) 14時30分~16時40分

会場 東京医科大学病院 6 階 臨床講堂 (新宿区西新宿)

講演1. 海外勤務者のデング熱対策

演者 国立感染症研究所ウイルス第一部第2室 高崎 智彦 先生 座長 東京医科大学病院 渡航者医療センター 濱田 篤郎 先生

講演2. 海外出張者に係るメンタル労災事案(仮)

演者 近畿大学 法学部 三柴 丈則 先生

座長 大阪労災病院 治療就労両立支援センター 久保田 昌詞 先生

(2) 関東産業医部会主催研修会

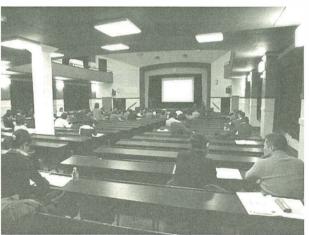
第272回産衛関東地方会例会(当番幹事 福本正勝 関東産業医部会長)として、今年度の医部会主 催研修会を開催する。

日時 平成28年2月20日(土)時間未定

会場 東京慈恵会医科大学1号館3階講堂(港区西新橋)

テーマ 検討中

- (3)「産業医ガイド」(関東産業医部会編 日本医事新報社 2010年)の改訂作業
- (4) 柳澤裕之 産衛関東地方会長発案による「多職種連携若手の会」への協力
- (5) 他団体との連携(地区医師会、日本労務学会など)



産業医研修会 会場(1)



産業医研修会 会場(2)

以上



#### 関東地方会研修会参加体験記

フジテレビ湾岸スタジオビル診療所 産業医、総合内科専門医 熊 谷 和 浩

### 『覚醒時間が長いと飲酒と同じ? 長年の交代勤務は発がんに関わる?!』

私が産業医をしているテレビ局、特に番組制作現場では、収録や編集作業などが深夜に及ぶことも多く、睡眠時間確保との闘いの中で社員は日々奮闘されています。より良い睡眠のため何か役に立つポイントは? という強い関心があり参加しました。今回4つの演題から、特に興味深かった内容についてご報告させて頂きます。

1題目は泉陽子先生から、安衛法の経緯と国のメンタルヘルス対策の一環としての今回の改正について、進捗状況を丁寧にご説明頂きました。

2題目、高橋正也先生は、睡眠不良による損失、快眠への方策等を話されました。我が国の睡眠時間は国際比較でも短い、覚醒時間が17 h 超えると作業能力は飲酒時と同程度に低下する、睡眠不足は蓄積する、交代勤務が長期間、特に15年以上続くと様々な発がんに影響する、デンマークでは乳がんは労災対象になりうる、週末の朝寝はせめて2時間以内にする、夜更かしはネガティブ思考になる、日本では睡眠時間が短い事に対して危機感が少ない点が問題、睡眠を今一度見直す事が生産性とメンタルヘルス向上に役立つ、と結論されました。

3 題目は、加藤憲忠先生から、睡眠指針2014改定について、睡眠12箇条を一つずつ掘り下げて頂きました。睡眠不足はレプチンやグレリンの変化を介し食欲を増強させる、少しの睡眠不足でも2 週間続くと一晩徹夜と同等に作業反応時間は低下する、慢性的睡眠不足では眠気を感じなくなる、睡眠は貯蓄できない等をご紹介頂きました。

4題目は、坪田一男先生から、ブルーライトの最新情報をご講演頂きました。テレビのLED液晶画面はブルーライト成分が多い、脳内には太陽光の青色成分だけを感知する受容体がある、ブルーライトは、"light pollution"と捉える動きがあり、強過ぎれば睡眠障害、網膜傷害やドライアイのリスクになる、高齢になると睡眠の質が低下するのは、白内障により昼間のブルーライトが脳内へ入らないことが一因かも等、最後にご自身のブルーライト対策を面白く紹介して頂きました。

以上、労働安全衛生・健康と表裏一体の睡眠にまつわるトピックスが豊富でした。放送局に限らず、 日周リズムに抗する社会生活を余儀なくされる現代の労働者は、睡眠時間確保に加え、質の良い睡眠を とる工夫や睡眠を妨げる要素について知り、少しでも取り入れる地道な努力が、安全衛生リスクの削減 につながると思います。

年初から、複数の事業所の安全衛生委員会で今回の内容を紹介し、いずれも好評でした。この研修会は、産業医活動に役立つとても価値ある内容で、企画された先生方に深謝致します。

# 北陸甲信越地方会

 幹事
 新潟青陵大学
 中
 平
 浩
 人

 石川勤労者医療協会 城北病院
 服
 部
 真

#### 【平成26年度 北陸甲信越地方会産業医部会活動報告】

- ○設立総会が平成26年9月27日(土)に金沢市文化ホールにて開催された。参加者:28名。
  - 1. 記念講演「産業医の社会貢献:すべての人々と職場に産業衛生を ~産業医部会の現状と未来~」 斉藤 政彦日本産業衛生学会産業医部会長を講師に迎え開催された。
  - 2. 以下の議案が審議された。
    - 1) 北陸甲信越地方会産業医部会規程案が審議の結果満場一致で議決された。
    - 2) 北陸甲信越地方会産業医部会の組織体制案について、監事交代の修正を加えた組織体案が満場 一致で議決された。
    - 3) 北陸甲信越地方会産業医部会平成26年度事業計画ならびに予算案が満場一致で議決された。
- ○北陸甲信越地方会産業医部会運営委員会が以下のように開催された。
  - 第1回 平成26年9月27日(土) 金沢市文化ホール2F 第1会議室 出席者:委員8名
    - 1. 北陸甲信越産業医部会の今後の活動について検討され、次の3活動を実施することで合意した。
      - 1) 産業医部会加入者員および未加入学会員に対して資料を送信し産業医部会をアピールする。
      - 2) 合同セミナー地方版を、地方会総会企画として隔年実施する。
      - 3) 各県で好評を博している産業保健関連研修会・セミナー等のリストを作成して、各県医師会に提示し、当地方会産業医部会後援「日医認定産業医講習!として活用してもらう。
    - 2. 規程により、本地方会産業医部会事務局を新潟県運営委員(中平) に置くことを地方会長に提案することになった。
      - 第2回 平成26年10月19日(日) 富山サンフォルテ 研修室305 出席者:委員8名
    - 1. 北陸甲信越産業医部会の今後の活動について再確認された。
      - 1)合同セミナー地方版は平成27年10月24日(土)新潟県医師会館14:00~16:00に、地方会総会 企画として実施する。
      - 2) 各県で好評を博している産業保健関連研修会・セミナー等のリストを作成し各県医師会に提示した。
- ○北陸甲信越地方会産業医部会主催企画が第57回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会にて、以下のように開催された。

平成26年10月19日(日) 富山サンフォルテにて特別講演が開催された。

「高岡地域産業保健センターの活動状況」

講師: 杉森 成実先生 (高岡地域産業保健センター)

#### 【平成27年度 北陸甲信越地方会産業医部会活動計画】

○北陸甲信越地方会産業医部会総会の開催

日時:平成27年10月24日(土) 17:00~17:15

会場:新潟県医師会館

議事: 平成27年度事業計画ならびに予算案

○合同セミナー(北陸甲信越地方会産業医部会事業共催)の開催

日時:平成27年10月24日(土) 14:00~17:00

会場:新潟県医師会館

企画:第58回北陸甲信越地方会総会 北陸甲信越地方会産業医部会事業

「ストレスチェック解析結果に基づく面接指導および職場改善の進め方(グループ演習)」

○北陸甲信越産業医部会共催企画の開催

日時:平成27年10月24日(土) 14:40~16:10

会場:新潟県医師会館

企画:教育講演「事業所を中心とした糖尿病・生活習慣病の予防と管理」

曽根博仁(新潟大学医学部血液・内分泌・代謝内科教授)

○各県で好評を博している産業保健関連研修会・セミナー等の一覧表の活用 各県の県医師会および産業保健総合支援センター等の産業医研修に活用してもらうよう働きかける。



# 東海地方会

#### 前幹事 トヨタ自動車 岩 田 全 充

#### 【平成26年度 東海地方会産業医部会活動報告】

第9回東海地方会産業医部会懇話会開催報告

日 時:平成26年12月20日(土)午後2時-午後5時

場 所:三浦会館(中部大学名古屋キャンパス)

6階610講義室

テーマ:「がん患者の就労支援」

講演1「がん患者の就労支援……

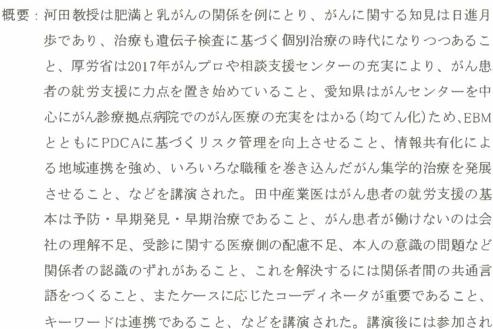
臨床医の立場から」

藤田保健衛生大学病院臨床腫瘍科 河田 健司教授

講演2「働くがん患者のQOLを高める……産業医の立場から」

新日鐵住金(株) 名古屋製鉄所 田中 完 産業医

参加者 58名(うち学会員22名)



ていた臨床系医師、産業医から活発 な発言が出され、今後、さらなる連 携を発展させようという雰囲気の中 で終了した。



#### 【平成27年度 東海地方会産業医部会活動計画】

第10回東海地方会産業医部会懇話会を2015年度中に開催予定

# 近畿地方会

幹事 パナソニック健康保険組合 健康管理センター 伊藤正人

#### 【平成26年度 近畿地方会産業医部会活動報告】

(1) 第19回近畿産業医部会研修会(参加者181名・うち学会員35名)

日時: 平成26年9月20日(土) 14:00~17:00

会場:大阪市立大学医学部学舎4階大講堂

実行委員長:古西 満 (奈良県立医科大学健康管理センター)

テーマ:海外勤務者の安全と健康を考える

1) 基調講演「海外勤務者の健康管理ABC」

座長: 久保田昌詞 (大阪労災病院治療就労両立支援センター)

講師:西山 利正(関西医科大学公衆衛生学)

2) シンポジウム「海外勤務者の安全と健康をまもるために」

座長:中西 一郎 (東レ滋賀事業場健康管理センター)

古西 満 (奈良県立医科大学健康管理センター)

演者: 辰己 嘉英 (パナソニック健康保険組合健康管理センター)

大西 裕美(P&Gジャパンヒューマンリソーシズ・アジアヘルスシステム)

安藤 裕一(インターナショナルSOSジャパンメディカルデパートメント)

(2) ケースカンファレンス研修会

産業医職場診断を計4回(平成26年9月13日・10月9日・11月8日・12月13日)、職場巡視を計4回(平成26年8月9日・平成27年1月24日・1月31日・2月7日)にそれぞれ開催し、各々延べ19名、95名の参加があった。

#### 【平成27年度 近畿地方会産業医部会活動計画】

(1) 第20回近畿産業医部会研修会

日時: 平成27年9月5日(土) 14:00~17:00

会場:大阪市立大学医学部学舎4階大講堂

実行委員長:岩根 幹能(新日鐵住金株式会社 中部・関西エリア統括産業医)

テーマ: まもなく施行されるストレスチェックについて

1) 基調講演「ストレスチェック制度の導入にあたって産業保健専門職が考えるべきこと」

座長:廣部 一彦(みずほファイナンシャルグループ関西統括産業医)

講師:川上 憲人(東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野教授)

2) 労使各側弁護士によるディベート「労働問題に精通した弁護士が繰り広げる模擬法廷

~ストレスチェックに関連する想定事例を素材として~|

座長:岩根 幹能(新日鐵住金株式会社 中部・関西エリア統括産業医)

解説:三柴 丈典(近畿大学法学部教授)

演者: 佐久間 大輔(つまこい法律事務所)、野口 大(野口&パートナーズ法律事務所)、

花谷 隆志(花谷心療内科クリニック)、岩根 幹能(新日鐵住金株式会社産業医)

# 中国地方会

### 幹事 友和クリニック 宇 土 博

#### 【平成26年度 中国地方会産業医部会活動報告】

#### 4部会合同職場改善セミナー 一介護施設の職場改善一

介護施設の介護作業者や調理員は作業関連性筋骨格系障害(MSDs)の高いリスク要因を抱えており、 その予防が要請されている。今回のセミナーでは、腰痛を中心に参加型の改善が行われた介護施設の職場改善を取り上げ、産業保健職の「職場改善」のスキルアップを図るために4部会合同企画として行われた。

介護施設の概要:この介護施設では、作業関連性腰痛を予防するために職場改善プロジェクトが立ち上げられ、人間工学的対策が実施されてきた。

日時: 平成26年11月29日(土)

会場:広島大学医学部保健学科2F 大会議室

スケジュール: 15:40-16:00 課題作業の提案

16:00-16:25 グループ討議

16:25-16:50 プレゼン

16:50-18:00 実際の対策の解説、閉会



介護施設での腰痛のハイリスク作業:ベッドからストレッチャーへの移乗作業

会場には、約50名が参加して、職場改善のための活発なグループワークとプレゼンが行われ、好評であった。

#### 【平成27年度 中国地方会産業医部会活動計画】

平成27年12月5日(土)~6日(日)第59回中国四国合同産業衛生学会が愛媛大学城北キャンパスで開催される。12月5日の産業医部会研修会では、鎗田圭一郎先生による「ストレスチェックに関する事例検討」のグループワークが企画されている。



#### 幹事 高知県庁総務部職員厚生課 杉 原 由 紀

#### 【平成26年度 四国地方会産業医部会活動報告】

1. 総会および交流会

開催日:平成26年8月30日(土) 17:30~20:00

会 場:道後温泉大和屋本店(松山市道後湯之町20-8)

2. 第1回サマーセミナーの開催

開催日: 平成26年8月30日(土) 14:00~17:00

会場:道後温泉大和屋本店 竹の間(松山市道後湯之町20-8)

内容:「メンタルヘルス対策の重層的な推進について」

1)講演会 座長:竹崎 雅之(東レ株式会社愛媛工場)

三次予防策:ルール・業務遂行レベルにもとづくメンタルヘルス対応 三次予防編

高尾 総司 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野)

二次予防策:極めてシンプルな職場復帰支援プログラムの運用について

昇 淳一郎 (パナソニックヘルスケア(株) 松山地区健康管理室)

一次予防策:"職場ドック"の取り組みについて

杉原 由紀 (高知県庁総務部職員厚生課)

2) 総合討論会



第1回サマーセミナー(松山市)

#### 【平成27年度 四国地方会産業医部会活動計画】

1. 総会および第2回サマーセミナーの開催 開催日および会場:8月29日(土)に徳島市で開催予定

2. 産業医部会研修会の開催

第59回中国四国合同産業衛生学会時(平成27年12月5日(土):愛媛大学城北キャンパス)

3.「中国四国地方会編 職場改善CD-ROM教材」活用研修会の開催

# 九州地方会

#### 幹事 ヘルスサポートセンター鹿児島 小田原 努

#### 【平成26年度 九州地方会産業医部会活動報告】

日本産業衛生学会九州産業医部会では、平成26年6月に北九州の産業医科大学にて開催された九州 地方会に合わせて九州産業医部会役員会を行った。ここでは新たに制定を検討している九州産業 医部会の定款案について審議した。また平成26年度の研修会の内容を議論し、部会員増員対策を話し あった。

研修会は、平成27年2月14日に博多バスセンター大ホールにて、講師に産業医科大学の松田晋哉先生、日立システムズの山崎研三様をお招きし、「産業保健における健診データの活用について」をテーマに開催された。まず松田先生より、データヘルス計画の紹介があり、日本のレセプト情報の特徴を述べられた後、実際にレセプトデータを使用して医療費の分析を行い、ジェネリック薬に変更した場合の効果や、疾病の季節変動の影響、更には分析によって医療の質の評価まで踏み込める可能性を示唆された。さらに介護保険や特定健診のデータと連携し、自治体や企業立健保組合の事業の分析なども紹介された。最後に今後の高齢化問題に対して、健康でなければ働けないが、働く事で健康となるという生涯労働のメリットにも触れられた。

日立システムズの山崎様からは、まずはデータを扱う際の基本的なスタンス、情報を把握し、分析し、判断するために、全体を俯瞰したり、一部を詳細に分析する手法に触れられた。その後、実際に分析ツールを用いたデモがあり、健診データと人事情報を簡単に突合し、様々な目的に応じて分析する方法が示された。最後にデモ機を用いての体験もあり、参加者と熱心な質疑応答が行われていた。

#### 【平成27年度 九州地方会産業医部会活動計画】

平成27年度の活動予定であるが、7月に九州地方会に合わせて産業医部会の自由集会を開催し、会員からの今後の活動についての意見を収集する予定である。平成27年度の研修会は部会員からの要望の多いテーマを取り上げたいと考えている。また九州産業医部会の定款を最終的に決定したいと考えている。





## 北海道地方会

旭川医科大学健康科学講座地域保健疫学分野 西條泰明

本年度より、北海道地方会の幹事を担当させていただくことになりました旭川医科大学健康科学講座 地域保健疫学分野(旧公衆衛生学)の西條です。当初9年間は内科・循環器内科医をしておりました。 2001年に公衆衛生学に移るときに産業医大の産業医学基本講座を受講し、その後より非常勤の産業医を 続けております。産業医学を学んでみると、働いている人の心筋梗塞をみても過重労働やストレスは考 えていなかったし、復職も仕事のことを想像できていませんでした。また、あのとき見た中皮腫は労災 について何も考えていなかったなとか、自分の針刺し事故も保険診療を指示されたなとか無知を思い知っ ています。そのおかげ?で、臨床医はよくわかっていないことも多い前提で主治医の意見書を見てい ます。

産業医の仕事を始めた当初は内科医の立場から健康診断の事後措置といったものがメインになるかと考えていたのですが、主に脳血管疾患防止のためのように始まった過重労働面談からメンタルヘルス対策がメインになり、結局、現在はどちらかというと非常勤産業医の仕事はメンタル対応になっているのは多くの非常勤産業医にあてはまるのかと思います。非常勤をしながら、2007年に労働衛生コンサルタントを取得し、2008年には当時の1泊2日の大変な産業衛生学会専門医試験をクリアしており、資格に恥じない産業医活動を心がけております。

研究面では健診データを利用してストレスや不眠などの生活習慣病の影響、公務員や医療職のストレスとうつ症状、シックハウス・シックビルディング症候群などについて細々と行っています。北海道は経済的な余裕がないためか、あるいは産業医の本来の役割を理解されていないためか、大きな企業の支社で本当に機能する産業医が求められ、多くは名前だけ産業医などの場合も多いのかと思われますが、北海道でも産業医が理解され、中小零細企業や医療職にも十分産業医学が行き渡るようになればと考えております。





## 東海地方会

三菱重工 大江西健康管理科 石 川 浩 二

このたび、医部会幹事を拝命しました、東海地方会の石川と申します。

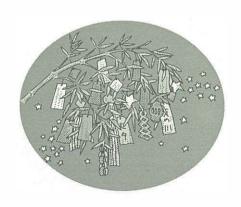
この場を借りまして、自己紹介と、今後の抱負について述べさせて頂きます。

1996年に産業医科大学を卒業し、卒業と同時に就職する形で弊社へ入社しました。その後中部労災病院での準スーパーローテートの研修医時代を経て、1998年から専属産業医となりました。

初めの10年間は、種々の産業機械を生産する事業場を担当しました。しかしその後、景気のあおりを まともに受け、分社化、事業縮小などの結果、産業保健部門もその影響を避けられず、2005年から、航 空宇宙事業の事業場を兼任することになりました。

航空宇宙にはもともと興味があり、高校3年の夏まで航空宇宙工学科を第1志望としていました。当時の同学科は国立の4大学のみの狭き門で、模試ではずっとC、D判定でした。そして夏の終わりと同時に同学科への進学を断念した、という経験をしていたため、回りまわって、別の形でその夢に携われることになりました。親しんだ事業場を離れるという無念さと同時に、夢が一部かなった、という思いで現在の事業場を担当することになりました。ただ産業機械の事業場時代には、適度な事業場規模に加え、自身も若く怖いもの知らずであったことも手伝い、所内活動のみならず、学会発表、その他何に対しても突っ走っていた気がします。関係者の助言をあまり聞かず、正しいと思ったことを実践して、今思えば周囲も困っていたかもしれません。今では年をとったこと、周囲のことを気にして、またそれらを言い訳にしてエネルギー消費をセーブしてしまい、できることも自ら制限してしまっているのではないか?と反省する日々です。

今回、幹事に就任させて頂くにあたり、その反省をもとに、今一度初心に戻って、できることを実践 していくきっかけになれば、と思います。自社のみならず、日本全体の産業医活動の発展に、少しでも 寄与できるよう頑張りたいと思いますので今後もよろしくお願いいたします。





## 四国地方会

日亜化学工業株式会社本社工場専属産業医 斎 藤

惠

このたび、産業衛生学会産業医部会幹事の大役を拝命し、重責に身の引き締まる思いです。

先日、大阪での産業衛生学会で初めて幹事会に出席させていただき、先輩の幹事の先生方の活発な意見交換、産業医活動への情熱に深く感銘を受け、微力ながらご一緒に活動させていただけることをとても光栄に思いました。

学生時代の衛生学の実習を通じて、産業保健への興味を抱き、認定産業医・労働衛生コンサルタントの資格を取得、内科医として勤務を続けていたのですが、平成18年4月現在の日亜化学工業株式会社本社工場に専属産業医として着任いたしました。平成14年から当時の徳島産業保健推進センター(現徳島産業保健総合支援センター)相談員を務め、平成24年からは所長を拝命しています。徳島県医師会では産業保健委員会・環境保健委員会(禁煙推進委員会を含む)を担当させていただいています。

徳島産業保健総合支援センターでは、私を含め、運営主幹・相談員の先生方4名が徳島県医師会産業保健委員会のメンバーで、連携がしっかりとれていて、活動がしやすいです。

徳島県の産業衛生学会会員数は約30名で、4部会会員がそれぞれの分野で活動しています。今後各部会の連携をもっと緊密にして、産業保健活動の活性化のために努力していこうと考えています。幹事会であげられた議題を地元に持ち帰り、合同勉強会などで意見交換したり、また地方からの意見もしっかり中央に伝える役割を果たしていきたいです。

このたび労働安全衛生法が改正になり、12月からはストレスチェック制度が施行されます。実施者として、面接指導担当医として、この制度における産業医の役割は大きいものとなっています。産業医の負担増大を懸念する声もあがっていますが、産業医の重要性と価値を事業所に認識していただくよい機

会と前向きにとらえ、実際施行後に発生するだろう様々な問題や疑問点も産業医部会で意見交換できることを期待します。

まだまだ微力ではございますが、産業衛生学会、産業医部会のお役に少しでもたてますよう努力してまいる所存でございますのでどうかご指導よろしくお願いいたします。



徳島の子育て支援イベント「おぎゃと」で禁煙推進コーナー(徳島県医師会)を担当しました。



# 九州地方会

ダイハツ九州株式会社産業医 垣 内 紀 亮

皆様こんにちは。ダイハツ九州株式会社産業医の垣内と申します。去る2014年12月発行の第53号医部会報「私たちがんばっています」のコーナーに投稿したばかりで恐縮ですが、今回、産業医部会幹事に任命されましたので改めて自己紹介と抱負を書かせていただきます。

私は長崎県出身で、産業医科大学を2002年に卒業しました。臨床研修後、新日本製鐵株式会社(現:新日鐵住金株式会社)君津製鐵所で1年間、宮本俊明先生(現副部会長)および加藤憲忠先生にご指導いただきました。この時の経験が現在の産業医活動の礎になっています。その後、大学での修練を2年間終え、ダイハツ九州に就職しました。産業保健活動をゼロから立ち上げ、今年で早いもので8年目になります。ここ数年、スタッフを増員し、産業医2名・産業看護職3名体制となりました。いまだ課題も多く日常業務に追われていますが、一歩一歩産業医活動を推進していきたいと思います。

産業医部会での今後の抱負ですが、大分県は産業医部会会員が少ない現状がありますので、一人でも多く部会に入会してもらい、また、産業医同士の情報交換を図り、県としてレベルアップができるように働きかけたいと思います。また、九州地方会産業医部会の活動でも、主催企画が盛り上がるよう小田原先生・彌冨先生をお支えし、また、九州地方会としても、会員数が増えるように働きかけていきたいと思います。また、産業医部会でも、今まで培ってきた特に同世代や私よりも若手の産業医とのネットワークを活かして、若手会員への活動周知や参画協力を求め、今後の産業医部会が発展していくべく「若手産業医の声」を集めていきたいと考えております。また、他の部会活動についても与えられた職務もしっかり遂行していきたいと思いますので、諸先輩方には今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



# アンケート調査への協力のお願い

産業医部会員各位

平成27年7月、産業医部会員を対象にアンケート調査が実施されます。順天堂大学の横山先生を中心としたグループによる「産業医と主治医との連携」をテーマにした調査研究です。理事会の了解を得て、名簿使用許可も下りている事例です。お忙しいところ恐縮ですが、ご協力よろしくお願いいたします。

部会長 斉 藤 政 彦 拝

## 部会報をホームページへ掲載します

産業医部会員の皆様へ

産業医部会長 斉 藤 政 彦 部会報編集委員長 谷 山 佳津子

平素は部会運営にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

昨年度、部会幹事会にて検討してまいりました結果、産業医部会の活動を、広く部会員以外の方々に も知っていただくことを目的として、部会報を産業医部会のホームページへ掲載させていただくことに なりました。

会員の皆様には、ご了承いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

すでに第53号(昨年12月8日発行) および第54号(本年4月6日発行) を掲載しておりますので、事後連絡で大変恐縮ですが、どうぞご確認のほどお願いいたします。

今後は、発行する部会報より順次アップしていく予定ですが、すでに掲載されたバックナンバー2号分につきまして、投稿いただいた記事、写真、内容について、一部削除などご希望の場合は、お手数ですが、下記宛て、平成27年8月31日までにご連絡ください。

それまでにご連絡がない場合は、ご了承いただけたものとして、そのまま掲載させていただきますのでよろしくご承知おきくださいますようお願いいたします。

なお、今まで通り部会報の紙面での発行も継続してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上 げます。

産業医部会会報URL: http://www.on-top.net/ibukai/kaiho.html

#### 【連絡先】

大同特殊鋼 ㈱

斉 藤 政 彦

電 話: 052-611-9437

メール: m-saitou@ct.daido.co.jp

#### 編集後記

「紙面が白紙だ、どうしよう」 - 新聞社では、時間に追われて編集作業を行う整理記者のほとんどがこの悪夢の洗礼を受けるといいます。今回、初めて医部会報の責任編集を担当し、ごくごく僅かではありますが、彼らの作業ストレスの一端を共有できた気がしています。その日の気分によっては、本当に「原稿集まらないかも、どうしよう」という不安が胸をかすめる瞬間があるのです。もちろん次の瞬間には、消えるのですが…。大変お忙しい中、ご出稿にご協力いただいた先生方には、衷心より感謝申し上げます。さて、今号の発行から原(北海道)、石川(東海)、彌冨(九州)、谷山(関東)の4名による編集委員会制を採用することになりました。1,000名を超える部会員の先生方、お一人おひとりの意見や活動がより反映できるような部会報作りを目指して、編集委員一同、力を尽くして参る所存です。魅力的な企画等、どうぞアイデアをお寄せください。よろしくお願い申し上げます。

## 自由投稿へのいざない

自由投稿歓迎:部会報は部会員の交流の場です。

皆様の自由投稿を歓迎します。ご自身の産業医活動あるいは日頃思っていることなどを800字以内にまとめて、事務局にメールにて送付ください。お忙しいとは思いますが奮って御投稿をお願いします。

#### 投稿先

公益社団法人 日本産業衛生学会 産業医部会事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル内

TEL: 03-3358-4001 FAX: 03-3358-4002

E-mail: sanei.4bukai@nifty.com